

2022年度 講義要綱

科目	コミュニケーションⅡ	必修 2単位 講義	講師	井上 恵理、阿久津 摂、中西 和子
授業概要	クラスを一つの集団とみなし、集団として成長していく過程を体験学習する。 保育者に必要とされるコミュニケーション力を養う。 認定絵本士養成講座科目を学び絵本への理解を深める。(該当科目4コマ)			
授業目標	・自己洞察力を養い、安定した人間関係を養えるようになる。コミュニケーション能力を身に付ける。 ・絵本のもつ可能性及び相反する力について理解する。絵本が子ども達に与える影響について多角的な視野から見つめることにより、批評力を体得する。(認定:「絵本のもつ力」なかむらしんいちろう)			
到達目標	・自己洞察力を養い、安定した人間関係を養いコミュニケーション能力を身に付けることができる。 ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる。			
授業方法	コミュニケーション力を高めるために、レクリエーションゲーム、課題解決学習、ロールプレイ、行事企画等、様々な形の学習を体験する。			
授業計画	1 オリエンテーション 2 コミュニケーションワーク(1) 3 就職活動とコミュニケーション(1) 4 コミュニケーションワーク(2) 5 【認定絵本士養成講座科目】「心に寄り添う絵本」担当:細江幸世 6 コミュニケーションワーク(3) 7 就職活動とコミュニケーション(2) 8 【認定絵本士養成講座科目】「絵本のもつ力」担当:なかむらしんいちろう 9 就職活動とコミュニケーション(3) 10 就職活動とコミュニケーション(4) 11 コミュニケーションワーク(4) 12 就職活動とコミュニケーション(5) 13 就職活動とコミュニケーション(6) 14 コミュニケーションワーク(5) 15 振り返り・夏季休暇・後期の学校生活に向けて 17 コミュニケーションワーク(1) 18 【認定絵本士養成講座科目】「ホスピタリティに学ぶ」担当:近藤学 19 就職活動とコミュニケーション(1)就職フェア振り返り 20 就職活動とコミュニケーション(2)就職フェア振り返り 22 コミュニケーションワーク(3) 23 コミュニケーションワーク(4) 24 就職活動とコミュニケーション(3) 25 就職活動とコミュニケーション(4) 26 コミュニケーションワーク(5) 27 就職活動とコミュニケーション(5) 28 就職活動とコミュニケーション(6) 29 【認定絵本士養成講座科目】「ディスカッション」担当:鈴木八重子 30 振り返り・卒業に向けて			
必須テキスト	【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト			
参考文献				
成績評価の方法と基準	【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト			
担当教員の専門分野等	中村直美:実務経験のある教員 【認定絵本士養成講座担当講師】 ○なかむらしんいちろう:絵本作家、絵本の研究者、絵本をめぐる活動全般に精通した者 ○細江幸世:絵本作家、絵本の研究者、相談機関等において絵本の読み聞かせの実践経験をもち、○近藤学:子ども達を対象とした商業施設の従事者な			

2022年度 講義要綱

科 目	体育実技	必修 1単位 講義	講 師	高見 美恵子
授業概要	幼児期運動指針とコーディネーション運動の関連性を踏まえ、科学的根拠に基づいたコーディネーション運動と共感するコーチングを通して、幼児期の運動とその環境づくりの重要性について学びを深める。			
授業目標	体験を通じてコーディネーション運動の特徴とその効果、重要性を学び、現場でどのように活かすかを考える。			
到達目標	<p>“1. コーディネーション運動、「5つの能力」「4つの形式」「遊びの4要素」、共感するコーチング、「5つの理論」について具体的に説明できる。</p> <p>2. コーディネーション運動と共感するコーチングを活用した指導案を作成し実践できる。”</p>			
授業方法	テキスト、ディスカッションや運動体験を通して、科学的根拠や理論について学びを深めると共に、指導案作成と実践を通じて、指導の楽しさと難しさを経験し現場に活かす。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の概要、成績評価等の説明 2 幼児期に必要な運動とコーディネーション運動との関連性を考える 3 コーディネーション運動、【5つの能力】について理解を深める 4 コーディネーション運動、【4つの形式】について理解を深める 5 コーディネーション運動、【遊びの4要素】について理解を深める 6 5つの能力、4つの形式、遊びの4要素を活用し、メニューとその展開方法について学ぶ 7 環境づくりとして、共感するコーチング理論と関連する科学的根拠について学ぶ① 8 環境づくりとして、共感するコーチング理論と関連する科学的根拠について学ぶ② 9 実技試験準備①:グループ分け、メニュー内容の検討 10 実技試験準備②:メニュー内容の検討、指導案作成 11 実技試験準備③:メニュー内容の検討、指導案作成 12 実技試験準備④:練習、改善 13 実技試験①:各グループごとに発表、振り返り 14 実技試験②:各グループごとに発表、振り返り 15 筆記試験 			
必須テキスト	幼児のためのコーディネーション運動			
参考文献	幼児期運動指針など。授業中に紹介。			
成績評価の方法と基準	出席状況(10%)+課題・授業態度(20%)+指導案・実技試験(30%)+筆記試験(40%)=合計(100%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。保育園、児童館・地域学習センターなどの公共施設、主催教室等にて、親子、幼児、児童、高齢者、障がい者を対象にコーディネーション運動を指導。			

2022年度 講義要綱

科 目	情報機器の操作	必修 1単位 講義	講 師	酒井 澄
授業概要	情報機器操作の基礎知識を身につけます。			
授業目標	情報機器を使用できる知識を身につけます。 オフィス(エクセル・パワーポイント・エクセル)、インターネットの知識(以降「web」と呼びます)、保育記録(撮影のしかた)、ナレーション(本の読みかた)。 保育現場に活用できるものを基本にします。			
到達目標	インターネットの光の部分と影の部分を知ること。 パソコン(オフィス)を使えるようになること。撮影の仕方や、ナレーションの基礎技能を身につけること。授業予定を提示しますが、進捗により変わります。			
授業方法	パソコン授業は学校のパソコンを使用しますが、自分のパソコンの持ち込み可能です。Macもフォローします。			
授業計画	<p>1 一人ひとりのコンピュータに対する理解度を確認します。後半はweb No.1(インターネットの知識の授業)</p> <p>2 ワードNO.1</p> <p>3 ワードNO.2</p> <p>4 ND2a ワードNO.3 ND2b web No.2(ZOOM授業)</p> <p>5 ND2a web No.2(ZOOM授業) / ND2b ワードNo.3</p> <p>6 パワーポイント No.1(ZOOM授業)</p> <p>7 パワーポイント No.2</p> <p>8 エクセル No.1</p> <p>9 エクセル No.2</p> <p>10 web No.3(ZOOM授業)</p> <p>11 エクセル No.3</p> <p>12 web No.4</p> <p>13 web No.5</p> <p>14 保育現場での撮影記録の仕方など</p> <p>15 試験</p>			
必須テキスト	学校のパソコンはパソコン内に保存できません。授業が次の週に続くとき、途中の工程を保存するためにUSBメモリなど保存できるメディアを持参して下さい。			
参考文献	インターネットの光と影ver.6/北大路書房			
成績評価の方法と基準	試験50pt、授業への取組45pt、出席5pt。 パソコンが苦手な学生をフォローした学生には追加ポイントを付けます。 パソコンなど苦手な人がいますが、これにより評価が下がることはありません。			
担当教員の専門分野等	1974年より映画テレビの制作会社勤務。職種:プロデューサー 担当作品:風の谷のナウシカなど。 2004年より映像制作会社を起業。職種:ビデオディレクター&カメラマン。内容:保育や企業などの記録やプロモーションなど。			

2022年度 講義要綱

科 目	情報機器の操作	必修 1単位 講義	講 師	南部 英子
授業概要	実務でよく使われるオフィスソフトの基本操作、および情報モラル・情報セキュリティの基本について学習する。保育の現場を意識し、学び合い、協同作業、振り返り等、Zoomを使ったグループワークを通して情報機器の活用を体験する。			
授業目標	保育現場で必要とされる基礎的な情報機器の活用法を習得する。 情報を正しく安全に取り扱う姿勢を身に着ける。			
到達目標	ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトの基本操作を習得し、協働作業で活用する。 情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、自身を守る実践的な知恵を身に付ける。			
授業方法	PC操作実習。情報モラル・セキュリティの基礎知識クイズ。Zoom併用グループワーク・作品発表。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(授業計画・PC基本操作・文字入力確認・Teams確認・通信環境アンケート) 2 文書作成1(Word:お知らせ文) 3 文書作成2(Word:イラストや表の入った文書) 4 文書作成3(Word:小テスト、知識整理)・ファイル管理 5 インターネット・メール 6 情報モラル・情報セキュリティ 7 表計算1(Excel:表作成・計算式) 8 表計算2(Excel:関数・グラフ) 9 表計算3(Excel:データベース、小テスト) 10 教育と情報機器(ビジュアルプログラミング操作体験) 11 プレゼンテーション1(PowerPoint:グループ発表計画) 12 プレゼンテーション2(PowerPoint:基本操作・オブジェクト・アニメーション) 13 プレゼンテーション3(PowerPoint:グループ発表制作) 14 グループ発表・相互評価(PowerPoint・Excel) 15 振り返りレポート作成(Word・Excel・PowerPoint) 			
必須テキスト	特に指定なし。適宜、資料配布。			
参考文献	特に指定なし。			
成績評価の方法と基準	授業後の提出物(作業ファイル・感想・知識クイズ;60%)+Word・Excel小テスト(20%)・PowerPoint発表と振り返りレポート(20%)=合計(100%)			
担当教員の専門分野等	博士(人間科学)。比較行動論。大学非常勤講師(情報基礎科目)。 民間PCスクール、企業新人PC研修、再就職PC研修、教育現場でのICT機器の操作活用支援を経験。			

2022年度 講義要綱

科 目	子ども家庭支援論	必修 2単位 講義	講 師	前川 洋子
授業概要	家庭という視点から支援のあり方について明らかにする。家庭生活を取り巻く様々な社会的状況について把握し、問題の所在やその解決アプローチを学ぶ。社会福祉の視点も含み、家庭に基本的な知識と家庭支援の専門性について学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども家庭支援の基本を理解し、保育士の行う相談等の意義と資源の活用、関係機関との連携を説明することができる。 2. ニーズに応じた多様な支援の展開及び子ども家庭支援の現状と課題が理解できる。 			
授業方法	基本的に講義形式であるが、現代の子どもと家庭を捉えるためにニューズピックを扱い、多様な支援方法の理解を深めるワークを行う。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども家庭支援の意義と必要性 2 家族システムと家庭 家庭機能の低下 3 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 4 子どもの育ちの喜びの共有 5 保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 6 支援における保育士の基本的態度(受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等)と技術 7 家庭の状況に応じた支援 育児不安 保育士の理解と支援 8 地域の子ども家庭支援における保育士等の役割 9 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 子育て支援サービス 10 国策・自治体の子育て支援策及び子ども家庭支援に関わる法律 11 子ども家庭支援の内容と対象 多様化、複雑化する子育て家庭の生活環境 12 保育所等を利用する子どもの家庭への支援 役割・実際・留意点 13 地域の子育て支援における保育士の役割 14 虐待の予防や防止 障害のある子どもとその家庭への支援 15 子ども家庭支援に関する日本の現状と課題 世界の子育て支援国際比較より 総まとめ 			
必須テキスト	松本園子、永田陽子他『子ども家庭支援論』ななみ書房 2021年			
参考文献	谷田貝公昭 監修 和田上貴昭 他編著 『子ども家庭支援論』—藝社 2020年			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み(50%)+レポート課題(50%)=合計(100%) 意欲的、積極的な取り組みを評価し、期待します。			
担当教員の専門分野等	大学通信教育部配本テキスト『子ども家庭支援論』『特別支援教育』他、保育士養成テキスト『保育の心理学演習ブック』『子ども家庭支援論』他執筆 教員免許状更新講習講師、社会福祉法人第三者委員(相談員)、東京都保育士研修等担当			

2022年度 講義要綱

科 目	保育者論	必修 2単位 講義	講 師	三島 秀晃
授業概要	保育所保育指針に基づき、保育者としての役割、職務内容を理解したうえで自身の目指す保育者像を形成できるようになる。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者の役割と倫理について理解する。 2. 保育士の制度的な位置づけを理解する。 3. 保育士の専門性について考察し、理解する。 4. 保育者の連携・協働について理解する。 5. 保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針に示されている、保育者の役割、職務内容を説明できるようになる。 2. 保育所保育指針に基づき、適切な保育指導計画案をたてられるようになる。 			
授業方法	「保育所保育指針解説」、「幼稚園教育要領解説」を基盤に作成されたパワーポイント資料を使い、実際の保育現場において、様々な状況に応じた保育者として適切な指導、援助、配慮の方法を学び、理解を深める。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 指導計画の必要性 3 わらべうた遊び演習 4 「子どもの姿」を基にわらべうた遊びを想定した、保育指導計画案の「ねらい」と「内容」の記述演習 5 保育指導計画案の「ねらい」と「内容」を踏まえた、「環境の構成」、「予想される子どもの姿」、「保育者の援助、配慮」の記述演習① 6 保育指導計画案の「ねらい」と「内容」を踏まえた、「環境の構成」、「予想される子どもの姿」、「保育者の援助、配慮」の記述演習② 7 エピソード記述演習 8 保育現場における特別支援の実際① 9 保育現場における特別支援の実際② 10 保育における地域との関わり合いの実際 11 教員研修の必要性 12 「主体的・対話的で深い学び」とは 13 保育指導計画案の作成① 14 保育指導計画案の作成② 15 自身の目指す保育者像を視覚化(レポート、イラストなどを活用) 			
必須テキスト	「保育指針解説」厚生労働省			
参考文献	授業内に紹介(授業計画各回ごとのパワーポイント資料を紹介)			
成績評価の方法と基準	授業態度(30%)、授業内制作物(30パーセント)、授業内課題、レポート(40%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。公立保育所勤務3年、私立幼稚園勤務15年大学勤務2年。幼児教育における「人間関係」、「特別支援教育」、「特別な支援を必要とする幼児と周囲の子ども、その両者の保護者の関係性」について研究。			

2022年度 講義要綱

科目	子ども家庭支援の心理学	必修 2単位 講義	講師	今泉 岳雄
授業概要	家庭における子どもの発達と家族の役割を知り、保育者の支援の在り方を学ぶ			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが健やかに育つために、どのような要因を考えるべきか述べることができる。 2. 現代の家庭がどのような問題を抱え、保護者や子どもがどのようなストレス反応を示すことがあるか、説明することができる。 			
授業方法	関連する映像やデータを使うとともに、受講生の活発なグループワークを通して、子どもの発達や子どもの属する家族の機能や役割、支援の在り方について視野を広げていきたい。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児期から学童期にかけての発達特徴 2 思春期から青年期の発達の特徴 3 成人期から高齢期の発達の特徴 4 家族システムと家族発達 5 親としての養育スタイルの形成過程と世代間伝達 6 子育て環境の社会状況的变化 7 ライフコースとワーク・ライフ・バランス 8 多様な子育て家庭への支援 9 特別な配慮を必要とする家庭への支援 10 子どもを取り巻く生活環境と心身の健康 11 子どもの心と健康 12 障害のある子どもの理解と対応 13 災害と子ども 14 保育園・家庭・地域 15 まとめ 			
必須テキスト	『シードブック 子ども家庭支援の心理学』 本郷一夫・神谷哲司編著 建帛社			
参考文献	授業中に適宜紹介、配布			
成績評価の方法と基準	出席点(20%) + 課題提出(80%) = 合計(100%)			
担当教員の専門分野等	『実務経験のある教員の授業』臨床心理学専門。臨床心理士、公認心理師。神奈川県立の児童相談所、児童自立支援施設、日赤医療センター、東北文教大学(教授)などに勤務。『心理学のエッセンス』(日本評論社)、『ハッピー育児セラピー』(学習研究社)、『パパにもわかる子育ての本』(実業之日本社)、他出版。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・健康	必修 1単位 講義	講 師	真砂 雄一
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」に関する「ねらい」と「内容」を理解し、乳幼児の発達段階を踏まえた保育者の関りや役割について学ぶ。 ・乳幼児を取り巻く健康についての現状を知る。 ・子ども達に必要な運動遊びについて知り、自ら体験する。 			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「健康」の「ねらい」「内容」について理解している。 ②基本的な生活習慣とその獲得、子どもの安全について理解している。 ③子どもの発育発達を促す運動遊びについて理解している。 			
授業方法	<p>授業は、オンラインで行う講義・演習と対面での講義・演習・実技のフューリング・スタイルで行う。</p> <p>なお、対面授業時には、実際に子ども達の運動遊びを体験してもらう回があるが、その際は動きやすい服装で参加すること。</p> <p>※運動遊びをする回については、事前に予告をする。</p> <p>※社会情勢や進行状況に合わせ内容や順番を適宜変更する</p>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育内容「健康」で学ぶこと 2 からだの発達 3 様々な遊び① 4 こころの発達 5 子どもにとって遊びとは 6 様々な遊び② 7 基本的な生活習慣の形成 8 様々な遊び③ 9 子ども達を取り巻く環境の変化 10 子どもの安全管理と安全教育 11 子どもの怪我や病気 12 発達に沿った運動遊び① 13 発達に沿った運動遊び② 14 発達に沿った運動遊び③ 15 子どもの健康 まとめ 			
必須テキスト	特になし(授業中に配布、オンライン上に資料を掲示)			
参考文献	『平成29年告示:幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(チャイルド社)			
成績評価の方法と基準	<p>授業に対する関心・意欲・態度(40%)＋提出物(30%)＋レポート(30%)＝合計(100%)</p> <p>※各回が関連しあっているため、欠席しないよう取り組んでほしい。</p>			
担当教員の専門分野等	<p>「実務経験のある教員による授業」に該当。現在短大にて、幼児体育や健康を担当する准教授として勤務。小学校で体育テクニカルアドバイザーの経験あり。保育園にて運動指導アドバイザー。専門分野:幼児体育、身体表現、レクリエーション</p>			

2022年度 講義要綱

科目	保育内容演習・健康	必修 1単位 講義	講師	土屋 みどり
授業概要	領域「健康」におけるねらいと内容を理解し、乳幼児の発達段階や取り巻く状況を踏まえ、心身の健康を育むための環境・関わり方等を学ぶ。			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について			
到達目標	1. 子どもの発達過程を理解し、それに即した保育者の関わり・環境設定等を具体化することができる。 2. 子どもを取り巻く様々な環境に触れ、保護者支援も含め、心身の健康のための働きかけを提案することができる。			
授業方法	講義、ケーススタディ、グループワーク、レポート課題など			
授業計画	1 オリエンテーション・健康とは 2 領域「健康」のねらい 3 領域「健康」の内容① 4 領域「健康」の内容② 5 領域「健康」の内容③ 6 領域「健康」の内容④ 7 心身の発達・健康① 8 心身の発達・健康② 9 子どもの遊び① 10 子どもの遊び② 11 基本的生活習慣① 12 基本的生活習慣② 13 食育に関して 14 安全・健康に関する管理 15 子どもの主体性			
必須テキスト	「保育所保育指針解説」フレーベル館			
参考文献	特に指定なし			
成績評価の方法と基準	出席及び授業への取組み(30%) 課題提出(70%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」保育士として勤務。保育士向け・保護者向けコーチング講座を開催。保育支援事業・保育イベント等の運営にも携わる。			

2022年度 講義要綱

科目	保育内容演習・人間関係	必修 1単位 講義	講師	小林 桂子
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期にみられる人間関係において、多方面からの支援と自立への導きについて。 ・保育を取り巻く人間関係について、実践を踏まえ、理解を深める。 ・すぐに使えるように！人間関係に関わる手遊び、ゲーム等の体得。 			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人間関係で、「この問題から何を学ぶことができるのか」という視点で考えられるようになる。 ・人間関係を築いていく上で「心の自立」がなぜ大切なのか、理解できるようになる。 			
授業方法	<p>事例等をもとに、自分なりの考えをまとめる。ロールプレイや人形劇、絵本やゲームを取り入れ体感する。(対面授業に合わせて授業計画の順番が入れ替わることがあります)</p>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業内容についての説明。 5領域「人間関係」そして、保育や支援に興味関心が持てるような導入となる授業。 2 子どもや保護者と向き合うために自分を知ることの大切さを学びます。 自分を知るアンケートで思考のくせに気付いてみましょう。 3 信用の信頼と信頼の信頼の違いを知り、保育で、何が大切な関係なのかを考えます。 「〇〇するなら、〇〇していいですよ」 4 「ほめられるからやる」は本当の目的ですか？「叱られるからやらない」は子どもの心に届いていますか？考えてみましょう。 5 保育者にとって「いい子」？保護者にとって「いい子」？危険ない子が陥りがちな人間関係の盲点。大切なことは「相手にとっていい子であることなのか？」を考えてみましょう。 6 「いいわる」や「うそ」には成長への大切なものが隠されています。子どもと一緒に考え、乗り越えるには、、、？考えましょう。 7 絵本をもとにした授業です。「子どもは(あなたは)～べき」という押しつけよりも大切なことは何か。「べき」は〇〇〇に変化すると、素晴らしい主体性を生み出すことを考えてみます。 8 保護者との人間関係も大切です。クレームや相談の電話も、保護者と子どもと一緒に乗り越える大切なきっかけになります。保護者が勘違いしやすい子どもの人間関係の悩みを、事例をもとに考えていきます。 9 時に、保護者や園をも巻き込むたかひごっこ。「お友達の気持ちになって考えてごらん。やられ役は悲しいよね」さて、この言葉は子どもの心に伝わるでしょうか？トラブルは、人間関係を学べる宝の山です。何が宝になるのか 10 相手が「ごめんね」と言ったら、どんなに傷ついても、辛くても「いいよ」って言わなければならないの？自分や相手の気持ちに合った対応を考えます。 11 ボードゲーム(アナログゲーム)は保育や療育、支援の現場で大きな効果をもたらしています。どのようなことなのか、事例をもとにゲームの楽しさや有効性を知きましょう！！ 12 その関わりは本当に子どもを尊重していますか？講師の失敗談から、尊重し合う人間関係を考えていきましょう。 13 子どもはひとりひとり違う人間です。成長に必要なものも全く同じではありません。それぞれのペースで人間関係を築いていきます。受容されて来なかった場合、心が荒れてしまう子どももいます。保育者はどのように向き合っているか 14 集団あそびは、子どもたちが人と関わることの楽しさを知る貴重な経験になります「究極のイスとりゲーム」で楽しくてあたたかい人間関係を体験してみましょう！試験対策もします。 15 考えて答える、記述式となります。教科書、ノート、プリント等、持ち込み可です。※スマホを含む電気機器は持ち込み不可です。 			
必須テキスト	<p>【新版】保育内容「人間関係」 神蔵幸子・桃枝智子著 大学図書出版</p>			
参考文献	<p>授業中に紹介、適宜プリントにて配布します。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>授業への取り組み(30%)＋記述の振り返り(50%)＋筆記試験(20%)＝合計(100%)</p>			
担当教員の専門分野等	<p>実務経験のある教員による授業。 幼稚園、保育、児童センター(大型児童館)、学童クラブ等、保育の現場に約30年携わっています。</p>			

2022年度 講義要綱

科目	保育内容演習・環境	必修 1単位 講義	講師	伊藤 賢
授業概要	現代の乳幼児を取り巻く環境や乳幼児と環境との関わりについて、領域「環境」のねらい及び内容の理解を深め、乳幼児の発達に即して、様々な環境を通じた教育(保育)について考察し、具体的な保育場面を構想し、環境設定などを概説していく。			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について			
到達目標	「環境を通して行う教育(保育)」を保育者の環境構成と子どもの姿を保育現場における実践方法等を交え保育環境を具体的に理解することができる。			
授業方法	視聴覚的教材等のICTを活用し、具体的な乳幼児の姿や指導場面を通して理解を深め、学生の「主体的・対話的で深い学び」をディスカッション、グループワークなどによる授業を行う。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育における環境について説明を行い、環境についての概要を学ぶ。 2 保育指針を通して、領域の意味を知り、理解していく。 3 園内活動を通じて環境のねらいについて 4 園外活動を通じて環境のねらいについて 5 「環境とかかわる力」を支えているものについて 6 領域の意味を知り、留意と注意などの意味の違いについて 7 生活の中で関わる環境を通じて学ぶ 8 様々な「自然環境」についてグループワークを通じて、学びを深める 9 「人的環境」についてグループワークを通じて、学びを深める 10 「物的環境」についてグループワークを通じて、学びを深める 11 「空間環境」についてグループワークを通じて、学びを深める 12 「安全・衛生環境」についてグループワークを通じて、学びを深める 13 環境と学びの関係について、保育環境デザインの意味について 14 「環境」計画の考え方及び小学校教育との接続について 15 全体の振り返りとテスト 			
必須テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「MIMAMORU 見守る保育」藤森平司著(学研プラス) ・保育所保育指針解説書(平成29年度告示) 			
参考文献				
成績評価の方法と基準	授業内の取り組み、発表、授業内レポート(50%)＋小テスト(20%)＋定期試験(30%)＝合計(100%) 発表について、保育環境設定について自らの考えを説明が出来ることを目的とし、それらを評価する			
担当教員の専門分野等	保育園園長として25年勤務、職員育成に携わる。			

2022年度 講義要綱

科目	保育内容演習・環境	必修 1単位 講義	講師	伊藤 直樹
授業概要	保育者は、保育所での生活と遊びの日々の中で、子ども自身の興味や欲求を様々な経験を重ねながら充実感や満足感が味わえるようにすることを目的に保育します。そのためには、人・物・空間といった環境を整え、子ども自らその環境に関われるように環境づくりをする必要があります。「環境を通して行う保育」の基礎的な知識とその重要性を学ぶ。			
授業目標				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発達に合わせた環境づくりの知識を身に付ける。 2. 保育の目標やねらいを達成するために、環境の構成を考えることができる。 			
授業方法	保育環境を構成する人・物・空間について講義する。 環境構成と子どもの関わる様子を動画を使い講義等による知識と実際の保育を合わせて学ぶ。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 講義の概要と見直し 領域「環境」の位置づけを知り、環境を通して行う教育・保育について概要を学ぶ 2 乳幼児を取り巻く人・物・空間という環境の重要性を理解し、乳幼児にふさわしい環境とその構成について学ぶ 3 保育指針・幼稚園教育要領のねらいと内容及び評価を学ぶ 4 保育者・他の子ども・保護者・地域の人とのかかわりから、子どもの主体性を育む保育者の意図を学ぶ 5 保育者の意図を子ども同士の関わりに生かす活動を知る(実際の保育現場を知った後ディスカッション) 6 子ども自ら「物」に働きかけることによって助長される子どもの発達を学ぶ 7 素材や自然物を見たり、触れたりすることで興味関心を育む活動を知る (実際の保育現場を知った後ディスカッション) 8 子どもの活動とその内容に大きく影響する空間(保育室等)の構成要素を学ぶ 9 子どもの生活と遊びを保障するため、保育室内の活動と動線、園庭の考え方、散歩などの実際の保育現場を知った後ディスカッション 10 子どもの体験が豊かになる地域社会の環境資源を生かし生きる力の基礎を育む保育を学ぶ 11 自然に親しみ動植物への関心を高め保育を豊かにする環境を学ぶ(実際の保育現場を知った後ディスカッション) 12 園の生活と行事と伝統文化など日常生活を豊かにし、地域や社会との関わりを大事にした保育を学ぶ(実際の保育現場を知った後ディスカッション) 13 子どもを取り巻く身近な環境を通して興味・関心・認識等の育ちを捉え援助の方法を学ぶ。(実際の保育現場を知った後ディスカッション) 14 「人」「物」「空間」という観点から、その環境の中で望ましい姿になるよう保育を考える及び乳幼児期にふさわしい生活と学習の基盤づくりを考える(実際の保育現場を知った後ディスカッション) 15 講義について意見や感想を交換し、「環境」について小論文をまとめる 			
必須テキスト	「演習 保育内容 環境」-基礎的事項の理解と指導方法-建帛社			
参考文献	「見守る保育」学研			
成績評価の方法と基準	リアクションペーパー(記述式アンケート)及び期末の小論文により成績を評価する			
担当教員の専門分野等	児童養護施設にて指導員、保育園2か園にて園長経験、現在は社会福祉法人理事長在職 実務経験のある教員による授業に該当			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・言葉	必修 1単位 講義	講 師	村山 久美
授業概要	子どもの言葉の発達、子どもの言葉の発達を支援する援助、保育者としての必要な言葉の力、及び児童文化財の教材研究や実演等の体験型学習を通して実践力を身に付ける			
授業目標	1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について			
到達目標	①子どもの言葉の発達について理解し、発達の過程を説明することができる ②子どもの言葉の発達を支援する必要な援助をを理解し、具体的な実践ができる			
授業方法	講義、個人ワーク、グループワーク、実践発表			
授業計画	1 ・言葉の奥深さについて ・「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて 2 ・ねらい及び内容の理解 3 ・0～2歳児の言葉と保育者の関わり 4 ・3～6歳児の言葉と保育者の関わり 5 ・配慮を必要とする子どもへの支援 ・専門機関との連携 6 ・言葉の発達を支援する保育者の在り方 7 ・おはなし 8 ・かみしばい 9 ・絵本 10 ・言葉遊び 11 ・ペープサート ・パネルシアター 12 ・小学校教育へのつながり 13 ・言葉の指導計画の作成 14 15 「言葉の発達過程をまとめ、それにかかわる保育者の在り方について論述してください」字数制限なし			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献	『神奈川県保育士実技講習会 言語表現』テキスト 『保育学生のための「幼児と言葉」「言語指導法」』他			
成績評価の方法と基準	授業態度20%、課題、実演等40%、試験40%で評価します。			
担当教員の専門分野等	実務経験のある教員による授業。保育所園長歴10年。アナウンス・司会業経験。「言葉」「子育て支援」「実習指導」を専門に研究。 研究実績あり。『子どもの理解と援助』一藝社、『子どもの文化 共感共鳴共有すること』子どもの文化社、『神奈川県保育士実技講習会 言語表現テキスト』執筆。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容演習・表現	必修 1単位 講義	講 師	竹田 えり
授業概要	<p>手遊び・歌遊び・リズム遊びなどを通して子どもの表現の育ちと保育者の役割について学びます。ひとつの遊びから様々な応用を考え、表現の幅を広げていきます。絵本の読み聞かせの際の演技のバリエーションなどや、劇遊び、エプロンシアター、パネルシアターなども学びます。</p> <p>▼ふれあい遊びは多いので感染症対策のため手袋を必ず着用すること</p>			
授業目標	<p>1. 養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>2. 子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について</p>			
到達目標	<p>教育実習現場で即実践できる歌遊びのレパートリーを10個以上習得する事。 創作力やアレンジ力をつけること。 何より元気な明るい声で子どもと向き合えるようになること。</p>			
授業方法	<p>実践の繰り返しを重視。教科書や参考文献などの歌遊び・劇遊び・パネルシアター等を学びオンライン、オフライン授業共にバリエーションを考え発表していきます</p>			
授業計画	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 2回目より、3～13回の項目について、オンライン・オフライン・使用教室の状況により、【順不同】で複合的に盛り込み進めていく。</p> <p>3 色々な手遊び・歌遊び 春</p> <p>4 色々な手遊び・歌遊び 夏</p> <p>5 色々な手遊び・歌遊び 秋</p> <p>6 色々な手遊び・歌遊び 冬</p> <p>7 わらべうた</p> <p>8 タオルあそび</p> <p>9 読み聞かせ 表現方法 朗読のバリエーション</p> <p>10 エプロンシアター・てぶくろシアター</p> <p>11 パネルシアター 制作方法やバリエーション</p> <p>12 劇遊び・オペレッタ 表現指導方法</p> <p>13 劇遊び・オペレッタ(衣装作り・実演)</p> <p>14 実技試験</p> <p>15 総括 振り返り 卒業ソングなど</p>			
必須テキスト	<p>あつまれハート」メイト社</p>			
参考文献	<p>CD「ハートキラキラ」「ハートハッピー」「ふれあいタオルあそび」全て図書室にあります。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>出席状況と授業への取り組み(50%) + 授業時間内での課題提出(20%) + 実技試験(30%) = 合計(100%) 意欲的、積極的な取り組みを評価し、期待します。</p>			
担当教員の専門分野等	<p>「実務経験のある教員による授業」に該当 長年に渡り保育士向けのセミナーや研修会で講習指導。 手遊び・歌遊び・劇遊び分野を研究。オペレッタ「いつまでもとどち」「北風と太陽」他多数出版(メイト社)</p>			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・言葉遊び I	必修 1単位 講義	講 師	乙川 智子、飯田 有美
授業概要	<p>[飯田]文字や言葉を使った遊びの種類や構造を知り、その楽しさを体感する。 [乙川]手話を学ぶことにより表情やコミュニケーション能力を高め、聴覚障害者・児に対する接し方を学ぶ。 ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本への理解を深める。(該当科目3コマ)</p>			
授業目標	<p>1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。</p>			
到達目標	<p>・自然科学・社会科学に関する絵本の特性について理解する。科学絵本などの活用法について理解する。(認定・飯田) [飯田]1.言葉遊びのクールのひとつとして昔話から言葉に関心を寄せることができる。 2.子どもにとっての言葉遊びの楽しさの極意を、授業内容や自身の体験・経験から見出すことができる。 [乙川]1, 保育士になった時に手話で聴覚障害者と会話ができる。 2, 聴覚障害者の不便さを説明できる。</p>			
授業方法	<p>・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる。 [飯田]言葉遊びを用いた絵本紹介をメインに、文字や言葉を使った簡単なレクリエーションゲームを随時行う。口 [乙川]手話を用いてコミュニケーションを図る。</p> <p>※授業計画の順番はクラスにより異なります。 別紙オムニバス科目授業日程をご確認ください。</p>			
授業計画	<p>1 [飯田]1 ことばあそびはどこにある？ 2 [飯田]2 ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字であそぶ 3 3 [飯田]3 数字・数であそぶ 4 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本③ 担当:栗山淳 5 [飯田]4 ことばであそぶ 6 [飯田]5 ことばの形に注目する 7 [飯田]6 ことばのリズムを楽しむ 8 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本① 担当:中村真一郎 9 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本② 担当:中村真一郎 10 [乙川]1 聴覚障害について(理論)、自己紹介(名前、趣味等)の表現練習 11 [飯田]7 しりとりのいろいろ 12 [乙川]2 聴覚障害について(理論)、自己紹介(名前、趣味等)の表現練習 13 [飯田]8 なぞなぞいろいろ 14 [乙川]3 保育園またはアルバイト先で使用する会話練習、まとめ 15 [飯田]9 他にもいろいろ</p>			
必須テキスト	<p>飯田:特に指定なし 乙川:特に指定なし 【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト</p>			
参考文献	<p>飯田:授業中に紹介。適宜、配布または配信します。 乙川:適宜プリントを使用する。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>飯田:出席(20%) + 授業態度(20%) + 課題・レポート提出(60%) = 100% 乙川:授業への取り組み(30%) + 実践発表(20%) + レポート(50%) = 合計(100%)</p>			
担当教員の専門分野等	<p>飯田:「実務経験のある教員による授業」に該当。絵本専門店や保育所に勤務経験あり。 乙川:「実務経験のある教員による授業」30年以上にわたり、手話指導並びに手話通訳活動中。 栗山淳:科学絵本などに関する専門的な知識を有する者 ○なかむらしんいちろう:物語を内容とした絵本に関する専門的知識を有する者／昔話・童話を題材にした絵本に関する専門的知識を有する者</p>			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・言葉遊び I	必修 1単位 講義	講 師	乙川 智子、飯田 有美
授業概要	<p>[飯田]文字や言葉を使った遊びの種類や構造を知り、その楽しさを体感する。 [乙川]手話を学ぶことにより表情やコミュニケーション能力を高め、聴覚障害者・児に対する接し方を学ぶ。 ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本への理解を深める。(該当科目3コマ)</p>			
授業目標	<p>1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。</p>			
到達目標	<p>・自然科学・社会科学に関する絵本の特性について理解する。科学絵本などの活用法について理解する。(認定・飯田) [飯田]1.言葉遊びのゴールの子どもとして普段から言葉に関心を寄せることができる。 2.子どもにとっての言葉遊びの楽しさの極意を、授業内容や自身の体験・経験から見出すことができる。 [乙川]1, 保育士になった時に手話で聴覚障害者と会話ができる。 2, 聴覚障害者の不便さを説明できる。</p>			
授業方法	<p>・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる。 [飯田]言葉遊びを用いた絵本紹介をメインに、文字や言葉を使った簡単なレクリエーションゲームを随時行う。口 [乙川]手話を用いてコミュニケーションを図る。</p> <p>※授業計画の順番はクラスにより異なります。 別紙オムニバス科目授業日程をご確認ください。</p>			
授業計画	<p>1 [飯田]1 ことばあそびはどこにある？ 2 [飯田]2 ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字であそぶ 3 [飯田]3 数字・数であそぶ 4 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本③ 担当:栗山淳 5 [飯田]4 ことばであそぶ 6 [飯田]5 ことばの形に注目する 7 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本① 担当:中村真一郎 8 [飯田]6 ことばのリズムを楽しむ 9 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本② 担当:中村真一郎 10 [乙川]1 覚障害について(理論)、自己紹介(名前、趣味等)の表現練習 11 [飯田]7 しりとりのいろいろ 12 [乙川]2 聴覚障害について(理論)、自己紹介(名前、趣味等)の表現練習 13 [飯田]8 なぞなぞいろいろ 14 [乙川]3 保育園またはアルバイト先で使用する会話練習、まとめ 15 [飯田]9 他にもいろいろ</p>			
必須テキスト	<p>飯田:特に指定なし 乙川:特に指定なし 【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト</p>			
参考文献	<p>飯田:特になし 乙川:適宜プリントを使用する。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>授業への取り組み(30%) + 実践発表(20%) + レポート(50%) = 合計(100%)</p>			
担当教員の専門分野等	<p>飯田:「実務経験のある教員による授」に該当。絵本専門店や保育所での勤務経験あり。 乙川:「実務経験のある教員による授業」30年以上にわたり、手話指導並びに手話通訳活動中。 ○栗山淳:科学絵本などに関する専門的な知識を有する者 ○なかむらしんいちろう:物語を内容とした絵本に関する専門的知識を有する者／昔話・童話を題材にした絵本に関する専門的知識を有する者</p>			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・言葉遊び I	必修 1単位 講義	講 師	横山 雅代、乙川 智子
授業概要	<p>[横山]児童文化財を通して楽しく語彙や表現を学ぶ。 [乙川]手話を学ぶことにより表情やコミュニケーション能力を高め、聴覚障害者・児に対する接し方を学ぶ。 ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本への理解を深める。(該当科目3コマ)</p>			
授業目標	<p>1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。 ・自然科学・社会科学に関する絵本の特性について理解する。科学絵本などの活用法について理解する。(認定・</p>			
到達目標	<p>[横山]児童文化財の特性を理解し、それらの活用に必要な知識・技術を身につけることができる。 [乙川]1, 保育士になった時に手話で聴覚障害者と会話ができる。 2, 聴覚障害者の不便さを説明できる。 ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる</p>			
授業方法	<p>[横山] [乙川] ※授業計画の順番はクラスにより異なります。 別紙オムニバス科目授業日程をご確認ください。</p>			
授業計画	<p>1 [横山]1 あいうえおと数であそぼう 2 [横山]2 謎とわらべうたであそぼう 3 [横山]3 音と詩で遊ぼう 4 [横山]4 対話であそぼう 5 [横山]5 言葉遊びの絵本を作ろう① (作り方の説明) 6 [乙川]1 聴覚障害について(理論)、自己紹介(名前、趣味等)の表現練習 7 [横山]6 言葉遊びの絵本を作ろう② (ラフの実作) 8 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本③ 担当:栗山淳 9 [乙川]2 聴覚障害について(理論)、自己紹介(名前、趣味等)の表現練習 10 [横山]7 言葉遊びの絵本を作ろう③ (ラフの発表・相談) 11 [乙川]3 保育園またはアルバイト先で使用する会話練習、まとめ 12 [横山]8 言葉遊びの絵本を作ろう④ (ラフの発表・相談) 13 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本① 担当:中村真一郎 14 [横山]9 言葉遊びの絵本を作ろう⑤ (できあがりの発表) 15 【認定絵本士養成講座科目】さまざまなジャンルの絵本② 担当:中村真一郎</p>			
必須テキスト	<p>横山:特に指定なし 乙川:特に指定なし 【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト</p>			
参考文献	<p>横山:特になし 乙川:適宜プリントを使用する。</p>			
成績評価の方法と基準	<p>授業への取り組み(30%) + 実践発表(20%) + レポート(50%) = 合計(100%)</p>			
担当教員の専門分野等	<p>横山:絵本、紙芝居、児童文学の編集歴30年 乙川:「実務経験のある教員による授業」30年以上にわたり、手話指導並びに手話通訳活動中。 ○栗山淳:科学絵本などに関する専門的な知識を有する者 ○なかむらしんいちろう:物語を内容とした絵本に関する専門的知識を有する者/昔話・童話を題材にした絵本に関する専門的知識を有する者</p>			

2022年度 講義要綱

科目	障害児保育	必修 2単位 講義	講師	今泉 岳雄
授業概要	障害児保育を支える理念や各障害の特性を理解し、保育現場において、障害児やその保護者をどのように援助していったらよいかを学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児保育を支える理念や歴史的背景について学び、障害児及びその保育について理解する。 2. 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 3. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 4. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々の障害の特性を述べることができる。 2. 個々の子どもや保護者のニーズに応じた支援内容を具体的に計画できる。 			
授業方法	映像を多く視聴し、子どもやその保護者個人個人の理解の大切さを知り、障害の特性や援助についてレポート作成や話し合いにより視点を広げていきたい。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害とはなにか 2 障害児保育の基本 3 発達障害児の理解と援助① 4 発達障害児の理解と援助② 5 発達障害児の理解と援助③ 6 保護者や家族に対する支援 7 知的障害の理解と支援 8 肢体不自由児の理解と支援 9 視覚障害・聴覚障害児の理解と支援 10 その他の特別な配慮を要する子どもの理解と支援 11 障害を発達の視点から理解するアセスメント・記録・個別指導計画書 12 発達を促す生活・遊び・環境と友達・保育者・保護者との関わり 13 職員・専門機関との連携 14 小学校との連携と保健・医療・福祉・教育の現状と課題 15 まとめ 			
必須テキスト	『障害児保育…子どもとともに成長する保育者を目指して…』藤永保監修、阿部五月他著、萌文書林			
参考文献	授業中に適宜紹介、配布。			
成績評価の方法と基準	出席点(20%) + 課題提出(80%) = 合計(100%)			
担当教員の専門分野等	『実務経験のある教員の授業』臨床心理学専門。臨床心理士、公認心理師。神奈川県立の児童相談所、児童自立支援施設、日赤医療センター、東北文教大学(教授)などに勤務。『心理学のエッセンス』(日本評論社)、『ハッピー育児セラピー』(学習研究社)、『パパにもわかる子育ての本』(実業之日本社)、他出版。			

2021年度 講義要綱

科 目	社会的養護Ⅱ	必修 1単位 講義	講 師	北川 裕子、菊地 紗江子
授業概要	施設や保育士の役割や援助等、基礎的な内容について具体的に学ぶ。 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。			
授業目標	施設養護及び家庭養護の実際について理解する。虐待の防止、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。			
到達目標				
授業方法	事例研究やロールプレイ、児童自立支援計画の立案等を通し、保育現場での実践力を身につけられるような学習を取り入れる。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 養護の基本原理等の復習、子どもの権利擁護 2 保育士の資質と倫理・責務、チームワーク 3 施設養護の生活特性および実際 ①入所、日常生活援助 4 施設養護の生活特性および実際 ②集団生活、家族調整 5 施設養護の生活特性および実際 ③自立支援 6 産学連携 7 施設養護の生活特性および実際 ④退所、アフターケア 8 施設養護の生活特性および実際 ⑤記録の意味、個別支援計画の作成、自己評価 9 里親等の家庭養護の特性及び実際 10 保育士の専門性・ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 ①心理的支援 11 保育士の専門性・ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 ②被虐待児への支援、親への支援 12 産学連携 13 保育士の専門性・ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用 ③障がい児への支援、親への支援 14 後の施設の方向性(小規模化等) 15 今後の社会的養護の方向性(家庭的養護の推進、地域との関わり、展望等) 			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献	『児童の福祉を支える 演習 社会的養護Ⅱ』吉田眞理著、萌文書林			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み(15%)＋提出物(75%)＝合計(100%) 積極的な取り組みに期待します。			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。児童養護施設勤務経験あり。 児童家庭福祉・社会的養護分野を研究。			

2022年度 講義要綱

科 目	子育て支援	必修 1単位 講義	講 師	神谷 路子
授業概要	子育て支援は、子育てに関わる全ての人々が支援される対象者である。 不安を抱きながら子育てしている人に共感しながら寄り添い、支援ができるように具体的に学んでいく。			
授業目標	1. 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。 2. 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。			
到達目標	①子育て支援に必要な技術を学ぶ ②子育て支援の実践事例を通して具体的な支援の方法を学んでいく			
授業方法	子育て支援の流れを通して全容を理解する。 悩みを受け止めるための受容、傾聴などのカウンセリング技術の基礎を体験する。 子育て支援の実践事例について検討し、意見を述べ合う。			
授業計画	1 「子育て支援とは何か」自分なりに考える 2 子育て支援の歴史、制度について学ぶ 3 子どもの成長、保護者への支援 4 「寄り添う心」について 5 聴く体験 6 支援の体制と計画 7 感情を育てる 8 事例で学ぶ① 9 事例で学ぶ② 10 事例で学ぶ③ 11 事例で学ぶ④ 12 事例で学ぶ⑤ 13 事例で学ぶ⑥ 14 事例で学ぶ⑦ 15 まとめ			
必須テキスト				
参考文献	保育実践に求められる子育て支援(ミネルヴァ書房)			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み方、発表、提出物の内容、出席状況などの総合評価			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」臨床心理士、公認心理師 保健所、教育相談室、民間相談室などで子育て相談を長く担当してきました。 スクールカウンセラー、学生相談を通して保護者と子どもの相談に対応してきました。			

2022年度 講義要綱

科目	子育て支援	必修 1単位 講義	講師	今泉 岳雄
授業概要	保育の専門性とは何かを理解し、様々な事例を通して、保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に学んでいく。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。 2. 保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者の信頼関係を築くために必要なポイントを述べることができる。 2. 子育て支援を行うにあたってどんな知識が必要かを述べることができる。 			
授業方法	講義以外に、動画の視聴やロールプレイ・事例についての話し合いを通して、子育て支援の知識やスキルの獲得を目指す。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの保育とともに行う保護者との相互理解・信頼関係の形成・支援 2 保護者や家庭のかかえる支援のニーズへの気づきと多面的理解、他者と関わる機会や場の提供 3 保護者が悩む子どもの心理的な問題・発達上の問題の理解と支援 4 保護者の精神疾患と支援 5 支援の計画と環境の構成、支援の実践・記録・評価・カンファレンス 6 カウンセリングの基礎知識とロールプレイ① 7 カウンセリングの基礎知識とロールプレイ② 8 職員間・自治体・関係機関や専門職との連携 9 保育所における支援内容と地域子育て家庭に対する支援 10 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもおよびその家庭に対する支援 11 子どもの虐待の予防と対応① 12 子どもの虐待の予防と対応② 13 要保護児童等の家庭に対する支援 14 多様なニーズをかかえる子育て支援家庭の理解 15 まとめ 			
必須テキスト	『子育て支援』公益財団法人児童育成協会監修、西村重稀他編集、中央法規			
参考文献	授業中に適宜紹介、配布			
成績評価の方法と基準	出席点(20%)＋課題提出(80%)＝合計(100%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員の授業」臨床心理学専門。臨床心理士、公認心理師。神奈川県立の児童相談所、児童自立支援施設、日赤医療センター、東北文教大学(教授)などに勤務。『心理学のエッセンス』(日本評論社)、『ハッピー育児セラピー』(学習研究社)、『パパにもわかる子育ての本』(実業之日本社)、他出版。			

2021年度 講義要綱

科 目	保育実習 I - 1 (保育)	必修 2単位 外部実習	講 師	実習指導授業担当
授業概要	保育所において、90時間以上の実習を行い、現場職員の指導を受ける。			
授業目標	1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることで、保育の理解を深める。 3. 既習の教科や保育実習 I の経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。 4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。			
到達目標				
授業方法	保育所の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理について、説明できる。 保育の計画に基づいた観察、子どもとの関わりができ、子どもへの理解を深め、記録することができる。			
授業計画	1 ①現場職員による保育実践を観察し、保育に参加することを通して、保育全般について知る。 ②子どもの観察、子どもとの関わりを通して、子どもに対する理解を深める。 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	実習態度、対象者の理解、職員としての資質の観点に基づく、現場職員及び実習指導授業担当教員による総合評価			
担当教員の専門分野等				

2021年度 講義要綱

科 目	保育実習 I - 2 (施設)	必修 2単位 外部実習	講 師	実習指導授業担当
授業概要	各現場の指導プログラム、計画に従う			
授業目標	1. 児童福祉施設、障害者支援施設の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や、子ども・利用者との関わりを通して対象者への理解を深める。 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、各現場の支援について総合的に理解する。 4. 現場における支援の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する			
到達目標	1. 多様な福祉施設の役割と機能、支援者の業務内容、職業倫理について説明できる 2. 支援計画に基づいた観察、理解、関わりを深め、自ら考察して記録にできる			
授業方法	各施設職員の指導の下、現場で実務経験をする			
授業計画	1 ①現場職員による支援実践を観察し、活動に参加することを通して、支援全般について知る ②子ども・利用者の観察、関わりを通して、対象者への理解を深める 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	「実習態度」「対象者の理解」「職員としての資質」の観点に基づく、現場職員及び実習指導担当教員による総合評価			
担当教員の専門分野等				

2022年度 講義要綱

科 目	保育実践演習	必修 2単位 演習	講 師	井上 恵理、中西 和子
授業概要	<p>本科目は、自身が興味のあるテーマについて調査、分析、考察、発表を行う。保育者は、子どもとその家庭に関する専門家として、保育士資格取得後も常に自己研鑽に努める姿勢が求められる。本科目は、それを見据え、保育に関する様々な物事に目を向け、幅広い視野を持って主体的に関わる姿勢を養うことを目的とする。</p>			
授業目標	<p>1. 指定保育士養成施設における教育課程の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。 2. 保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を</p>			
到達目標	<p>①興味のあるテーマについて調査、分析、考察、発表を通じ、保育に関する物事に主体的、意欲的に関わることができる。 ②他者に伝える力を身に付けると同時に他者の意見を取り入れながら問題解決する方法を身に付けることができる。</p>			
授業方法	<p>グループ討論や個別指導をまじえ、自身が興味のあることについて調査をし、まとめ、発表をする演習中心の授業である。</p>			
授業計画	<p>1 オリエンテーション ～保育実践演習の進め方～ 2 テーマの設定① ～関心を明確にする～ 3 テーマの設定② ～テーマを決める・関心の深め方～ 4 研究のスタイル ～調査・分析・考察の方法～ 5 中間発表に向けての個別指導 6 中間発表に向けてのレジユメの作成 7 中間報告及びディスカッション① 8 中間報告及びディスカッション② 9 中間発表を踏まえ、発表に向けた課題の点検 10 発表に向けての個別指導 11 レジユメ作成及び発表準備 12 発表① 13 発表② 14 発表③ 15 まとめ</p>			
必須テキスト	<p>特に指定なし 適宜資料を配布する</p>			
参考文献	<p>特に指定なし 適宜紹介する</p>			
成績評価の方法と基準	<p>レポート等提出物(30%) + 発表(30%) + 出席状況(40%) = 合計(100%) 提出物は期限を守ること 発表への参加は必須事項である</p>			
担当教員の専門分野等	<p>専門分野:(井上)臨床心理学 (中西)保育・幼児教育史</p>			

2022年度 講義要綱

科目	保育実践演習	必修 2単位 演習	講師	遠藤 真司
授業概要	保育者として必要な資質能力の全体を明示的に確認するとともに、自ら主体的に継続的・計画的に自己課題の発見・解決に取り組み、対話や発表を通してよりよい解決策を学ぶ。			
授業目標	1. 指定保育士養成施設における教育課程の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。 2. 保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を			
到達目標	自己の課題を把握するとともに、課題解決に向けての方策を考えることができる。 受講者同士の対話を通して、協働的に学ぶ姿勢を身につけるとともに、発表を通して、適切に表現することを学ぶ。			
授業方法	これまでの講義や演習などを通して自分が捉えた課題を明らかにし、よりよく解決する方策を考え、それを発表して受講者同士が学び合う。			
授業計画	1 オリエンテーション～これまでの授業や実習などの振り返り、保育実践演習のこれからの計画 2 よさを知る／これまでの授業や演習などを通して、保育士としての自分のよさは何かを知る。受講者同士との対話などを通して自らを振り返る。 3 課題を知る／これまでの授業や演習などを通して、保育士としての自分の課題は何かを知る。受講者同士との対話などを通して自らを振り返る。 4 研究、発表方法を考える／保育全般の中から自分が追究したいテーマを明らかにして、今後どのように研究をし、他者にどのように伝えるかを計画する。 5 発表に向けて取り組む①／自分が追究したいテーマを研究し、受講者同士の話し合いや助言をし合ったりしながら発表に向けて準備をする。 6 発表に向けて取り組む②／自分が追究したいテーマを研究し、受講者同士の話し合いや助言をし合ったりしながら発表に向けて準備をする。 7 発表に向けて取り組む③／自分が追究したいテーマを研究し、受講者同士の話し合いや助言をし合ったりしながら発表に向けて準備をする。 8 発表に向けて取り組む④／自分が追究したいテーマを研究し、受講者同士の話し合いや助言をし合ったりしながら発表に向けて準備をする。 9 発表に向けて取り組む⑤／発表に向けて、小グループで交流をし、うまく自分の言いたいことが伝わるかを学び合う。 10 発表に向けて取り組む⑥／発表に向けて、小グループで交流をし、うまく自分の言いたいことが伝わるかを学び合う。 11 発表①／Aグループ全員が一人ずつ発表をする。受講者全員がお互いに聞いて、どのような保育士になりたいのか、自分の考えを深める。 12 発表②／Bグループ全員が一人ずつ発表をする。受講者全員がお互いに聞いて、どのような保育士になりたいのか、自分の考えを深める。 13 発表③／Cグループ全員が一人ずつ発表をする。受講者全員がお互いに聞いて、どのような保育士になりたいのか、自分の考えを深める。 14 発表④／Dグループ全員が一人ずつ発表をする。受講者全員がお互いに聞いて、どのような保育士になりたいのか、自分の考えを深める。 15 まとめ／全15回の授業を振り返り、保育士を目指す者としてどのような学びを得ることができたかを明らかにする。			
必須テキスト	特になし			
参考文献	共通のものは特になし。各自が追究したいテーマについての参考文献を探すこと。			
成績評価の方法と基準	出席(40%)、授業中の態度(30%)、課題の提出と内容(30%)を基本に、授業全体から総合的に評価する。			
担当教員の専門分野等	元小学校の校長。校長在任時は幼稚園・保育園・小学校の連携教育の委員長を務める。小学校教員の養成と同時に幼稚園教諭、保育士などの指導も行う。現在は大学院で、「教職実践演習」の授業を持ち、教員として子どもや保護者にどう対応するかを指導技術や心構えなどを指導する。			

2022年度 講義要綱

科 目	子どもと遊び	選択必修 2単位 講義	講 師	荒巻 シヤケ
授業概要	あそび歌・パネルシアター・絵本・アナログゲーム・素材遊びなど、さまざまに遊びを体験する中で、自分自身が楽しさを実感しながら遊びについて考えていく授業です。 遊びを覚えることが主ではなく、科目名の通りに「子どもと遊び」について考えていくことを一番の柱にしています。			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ○「子どもが」主語になることを意識しながら遊びについて考えていく。 ○自分の中の子どもの心と向きあっていく ○友達と対話しながら遊びを深めていく ○遊びとは?について考える 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの自発的な遊びについて興味関心を持てるようになる ○一つの遊び方にとらわれずに、遊びをアレンジする力を身につける 			
授業方法	授業ごとに遊びのテーマがあり、実際に遊びながら、楽しさを感じたり、時にはグループにわかれて対話しながら、遊びを深めていく。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 講師のオリジナルあそび歌で実際に遊ぶ。 2 替え歌創作で、遊びに対する柔軟性を養う 3 ハンカチやバンダナなど布を使って遊ぶ。 4 子どもの言葉・保育者の言葉がけ・言葉を使った遊びなど、言葉について、遊びながら考える。 5 埼玉県認定こども園の映像から、子どもが自発的に遊びたくなる環境について学び考える。 6 おもちゃの専門家との対談動画から、おもちゃについて学ぶ。 7 昔懐かしい折り紙や簡単な紙のおもちゃを創って遊ぶ。 8 世界のカードゲームやボードゲームで実際に遊ぶ。一回目は主に3歳～5歳の幼児向けのものを中心に遊びます。 9 世界のカードゲームやボードゲームで実際に遊ぶ。二回目は主に6歳～8歳の小学生向けのものを中心に遊びます。 10 絵本の専門家との対談動画から、絵本についての学びを深めます。 11 あやとりなど、ひもを使って見立てて遊ぶ。 12 パネルシアターの専門家との対談動画から、パネルシアターについて学ぶ。 また、最終課題のテーマを決める。 13 課題の準備日1日目 14 課題の準備日2日目 15 各グループごとに調べた「遊び」について発表する。 			
必須テキスト	パネルシアターキット モクモクくものレストラン			
参考文献	必要に応じて授業ごとに紹介			
成績評価の方法と基準	遊びに対する積極性 ・ 授業態度 ・ 振り返りシート			
担当教員の専門分野等	年間120公演以上の子ども達との豊富なあそび歌実践。 保育士としての実務経験。			

2022年度 講義要綱

科 目	子どもの食と栄養実習	選択必修 1単位 講義	講 師	高尾 優
授業概要	子どもの食と栄養の講義で学んだことを基礎として実際に献立の作成や調理を行う。乳児期から幼児期にかけて食事の形態がどのように変化していくのか、どのように調理するのか実習を通して学習する。また、子どもへの食育について計画し、実施する。			
授業目標	1. 子どもの発育・発達と食生活の関連について実践する。 2. 保育における食育について考え実践する。			
到達目標	子供の食について口腔機能の発達と食事形態を理解し、離乳食や幼児食が作れるようになる。 子供の食の問題について考え、問題を改善するための食育を行うことができる。			
授業方法	子どもの成長の段階に合わせた調理実習。 食育の計画、媒体の作成、発表を行う。			
授業計画	1 オリエンテーション 2 授乳期の栄養(調乳) 3 調乳実習 4 授乳期の栄養(離乳食) 5 離乳食実習 6 幼児期の栄養 7 幼児食実習 8 アレルギーの子どもの食事を計画する 9 食育の計画 10 食育の計画 11 食育媒体の作成 12 食育媒体の作成 13 食育発表 14 食育発表 15 アレルギーの子どもの食事計画の発表			
必須テキスト	1年次の子供の食と栄養で使用したテキスト			
参考文献				
成績評価の方法と基準	出席(40%)+実習への取り組み(30%)+課題の提出(30%)=合計100%			
担当教員の専門分野等	小児栄養学(食育・食物アレルギー)			

2022年度 講義要綱

科 目	子どもの食と栄養実習	選択必修 1単位 講義	講 師	島村 憲子
授業概要	健康な生活の基本として食生活の意義・栄養について学ぶ。 発育期の子どもに対する栄養の知識を理解する。			
授業目標	食事は体への栄養と心への栄養となることを理解し、子どもが安心していられる場をつくることの必要を理解する。			
到達目標				
授業方法	実習を通して子どもの栄養の大切さを理解する。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの健康と食生活について 2 5大栄養素について 3 バランス献立の作成、栄養計算 4 乳汁期栄養について、調乳実習 5 離乳期栄養について 6 離乳食調理の基本(時期別形状離乳食) 7 離乳食実習(5、6ヵ月児、7、8ヵ月児) 8 離乳食実習(9～11ヵ月児、12～18ヵ月児) 9 幼児期栄養について 10 幼児食の献立作成、栄養計算 11 作成した献立での実習 12 保育所給食での間食実習 13 食育について 14 食育用の媒体物作り 15 まとめ・試験 			
必須テキスト	『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院(1年次に使用したもの)			
参考文献	献 その時々参考になるものを紹介			
成績評価の方法と基準	出席、レポート、実習態度、試験による総合評価			
担当教員の専門分野等	10年間、大学の小児科医のもとで乳幼児栄養に関する研究。 その後、乳幼児・学童・成人・老人を対象にした栄養相談。			

2022年度 講義要綱

科 目	合唱と合奏	選択必修 2単位 講義	講 師	鈴木 祥子、高山 美帆、山崎 洋子、渡辺 容子、上田 亜津子、金沢 洋子、木下 裕子、石原 奈保子、白鳥
授業概要	1年次に学んだ子どもの歌を中心としたレパートリーについてどのように現場で子どもたちと楽しんでいくか、自ら考えながら、より良い指導法のテクニックを培っていく。コードネームの基礎をマスターする。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人レッスンでは保育実習Ⅱに向けて生活の歌や現場ですぐ楽しめる曲を2～3曲仕上げる。 ・季節や生活・行事等、様々なねらいに応じた歌遊びの現場での楽しみ方を身に着ける。 			
授業方法	1年次と同じく、クラスを2つのグループに分け、45分ずつ教室を入れ替わり、①ピアノ等の個人レッスンと②合唱等のグループレッスンとを行う。オンラインの個人レッスンでは画面に手元を映すよう工夫すること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 前・後半に分かれて各教室でのオリエンテーション。(①②に分かれて45分で入れ替わる) 2 ①ピアノ等による個人レッスン／②合唱等のグループレッスン。以下の項目について学生の状況に合わせて複合的に盛り込み進めていく。 3 ①ピアノ等による個人レッスン／②1年次にマスターした子どもの歌のレパートリーの確認。 4 ①ピアノ等による個人レッスン／②コード伴奏等の基礎知識(五線紙は配布します。) 5 ①ピアノ等による個人レッスン／②現場で役立つ声の出し方(呼吸法と発声法) 6 ①ピアノ等による個人レッスン／②童謡・唱歌等の子どもの歌教材研究 7 ①ピアノ等による個人レッスン／③3～4名のグループによる指導法研究と発表 8 ①ピアノ等による個人レッスン／②指揮法基礎 9 ①ピアノ等による個人レッスン／③2声・3声のハーモニー(共働作業を楽しむ) 10 ①ピアノ等による個人レッスン／③リトミックを含む歌遊びの指導法研究 11 ①ピアノ等による個人レッスン／③リズム楽器を楽しむ 12 ①ピアノ等による個人レッスン／③弾き歌いの指導法研究 13 ①ピアノ等による個人レッスン／③個人レッスンによるアドバイス 14 実技試験に向けてのリハーサルと個別指導(①②共) 15 実技試験(発表会)と各自の振り返り 			
必須テキスト	『現場で役立つ幼稚園教諭・保育士の為のピアノ入門』ドレミ出版 『ポケットいっぱいの歌』教育芸術社 ※対面時は”有線イヤホンorヘッドフォン”をお持ちください			
参考文献	日本児童教育専門学校編「はじめての弾き歌い」			
成績評価の方法と基準	出席状況・受講態度(50%)＋実技試験(50%)＝合計100% 実技試験課題については1か月前には担当講師と個別に検討を始め、ピアノ曲、弾き歌い各1曲(または弾き歌い2曲)を準備すること。			
担当教員の専門分野等	専任: 木下裕子 東京藝術大学卒業。公財日本オペラ振興会育成部第6期修了。声楽、ピアノ、合唱指導、リトミック指導。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育教材研究	選択必修 2単位 講義	講 師	笠原 麻衣子
授業概要	<p>授業計画は開講後決定</p> <p>【造形】造形内容は以下の項目のなかから行う予定</p> <p>・お面づくり ・衣装づくり:ポリ袋 ・イラスト練習:季節の絵 ・絵遊び:絵しりとり、絵ビンゴ ・ゲーム遊び:手作り双六</p> <p>・屋外活動:自然物で絵画制作 ・障子紙の染め:桜制作 ・フィンガーペイント ・布を染める ・レゾの座学①:段ボールスタンプ ・レゾの座学②:段ボールと自然物でフォトフレーム・地平線絵本 ・アルミホイル・粘土のよう</p>			
授業目標	<p>【造形】これまで獲得した基礎力を活かし、多種多様な道具材料を工夫して課題制作を行う。「失敗を恐れず遊びのなかで創造力を養う子どもの造形活動」を体験する。現場活動を想定し、造形への理解を深め、指導力や表現力の幅を広げる。</p> <p>【認定絵本士養成講座科目】を学び、絵本への理解を深める。(該当科目6コマ)</p>			
到達目標	<p>【造形】子どもの創作活動を体験し、想像力を広げる。将来の現場実践のために、教材について視野を広げる。</p> <p>【認定絵本士養成講座科目】</p> <p>「認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる」</p> <p>・書店における絵本の売り場づくりの特性について理解する、絵本の流通について理解する(認定:「絵本と出会う④」)</p>			
授業方法	<p>【造形】1.実技 2.座学 (基本毎回課題提出) 対面授業(4回)+オンライン授業(5回) 【認定絵本士養成講座科目】対面授業(6回)、課題提出もあり。</p>			
授業計画	<p>1 【認定絵本士養成講座科目】「絵本総論」担当:なかむら 課題 対面(全クラス)</p> <p>2 【認定絵本士養成講座科目】「絵本各論④」担当:手塚 課題 対面(全クラス)</p> <p>3 【認定絵本士養成講座科目】「絵本各論①」担当:なかむら 課題 対面(全クラス)</p> <p>4 【造形】①前提講義:講師挨拶、授業受講のルール等 担当:笠原・なかむら 対面(acTS)</p> <p>5 【造形】② 担当:笠原・なかむら 対面(b)</p> <p>6 【造形】③ 担当:笠原・なかむら オンライン(全クラス)</p> <p>7 【認定絵本士養成講座科目】「絵本各論②」担当:なかむら 課題 【対面(全クラス)</p> <p>8 【認定絵本士養成講座科目】「絵本が生まれる現場①」担当:なかむら 課題 対面(全クラス)</p> <p>9 【認定絵本士養成講座科目】「絵本と出会う④」担当:関本 対面(全クラス)</p> <p>10 【造形】④ 担当:笠原・なかむら オンライン(全クラス)</p> <p>11 【造形】⑤ 担当:笠原・なかむら 対面(abTS)</p> <p>12 【造形】⑥ 担当:笠原・なかむら 対面(c)</p> <p>13 【造形】⑦ 担当:笠原・なかむら 対面(全クラス)</p> <p>14 【造形】⑧ 担当:笠原・なかむら 対面(全クラス)</p> <p>15 【造形】⑨ 担当:笠原・なかむら 対面(全クラス)</p>			
必須テキスト	<p>【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト</p>			
参考文献	<p>適宜紹介</p>			
成績評価の方法と基準	<p>受講態度・積極性50%+目標到達度・技術習得度・課題提出数及び内容・技術習得度50%=計100% 参加・実践形式の授業の為、授業中の意欲的な取り組み、課題作成のプロセス、創意工夫、プレゼンテーション能力、作品説明能力、期日までの提出を評価</p>			
担当教員の専門分野等	<p>【造形】笠原:「実務経験のある教員による授業」に該当。長年にわたって保育所で勤務。</p> <p>【認定絵本士養成講座担当講師】 ○関本:書店における絵本の売り場づくり、および、絵本の出版流通に精通した者 ○なかむら:絵本をめぐる活動に精通した者、絵本の歴史や絵本賞に関する専門的知識を有する者、絵本の視覚表現・言語表現に関する専門的知識を有する者、絵本作家、童話さっかとして豊富な経験を持つ者 ○手塚:情報メディアとしての絵本の特性および我が国著作権制度と絵本の関わり、電子書籍と脳科学に関する専門的知識を</p>			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・身体表現遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	鈴木 直樹
授業概要	幼児の成長にとって必要不可欠な身体表現遊びについて理論と実践を往還させながら深く学びます。授業では、身体活動を通して楽しく運動遊びの有用性を学ぶと共に、それを価値づける科学的根拠について学びます。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	①遊びの重要性を理解し、②遊びをデザインできるようになると共に、③遊びのカリキュラムを構想できるようになる。			
授業方法	授業は、オンラインで行う講義・演習と対面の実技の学習を有機的に関連させたアクティブラーニング・スタイルの授業です。			
授業計画	1 幼児の身体表現遊びについて概観する。 2 幼児期の身体発達の特徴について身体活動の内容に注目して概説する。 3 幼児期の身体発達の特徴について体力に注目して概説する。 4 幼児期の運動遊びと学力の関係について概説する。 5 幼児期の運動遊びとWell-beingの関係について概説する。 6 かけっこ遊びを体験しながら活動の工夫について考える。 7 マット遊びを体験しながら活動の工夫について考える。 8 遊びのデザインについて時間の工夫に注目して考える。 9 遊びのデザインについて仲間と空間の工夫に注目して考える。 10 模擬保育を行い、より良い指導を考える。 11 模擬保育を行い、より良い指導を考える。 12 模擬保育を行い、より良い指導を考える。 13 模擬保育を行い、より良い指導を考える。 14 模擬保育を行い、より良い指導を考える。 15 模擬保育を振り返り、まとめ、より良い保育を行う支援について考える。			
必須テキスト	特になし			
参考文献	鈴木直樹・成家篤史・石塚諭・阿部隆行(2017)「子どもの未来を創造する体育の「主体的・対話的で深い学び」」. 創文企画			
成績評価の方法と基準	意欲・関心・態度(20%)+提出物(30%)+授業内の発表(20%)+最終レポート(30%)=合計(100%)			
担当教員の専門分野等	博士(教育学) 専門は体育科教育学。特に、学習評価論を専門とし、国際比較研究などに取り組んでいる。 現在大学にて体育科教育学を担当する准教授として勤務中。小学校での勤務経験が9年あり。幼児体育に関する講演など多数。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・身体表現遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	菊池 一英
授業概要	幼児期の心身の育ちの中で身体表現遊び(幼児体育)がどのように貢献できるかを学びます。健康とは、体育とは、運動能力とは、発育、発達、成長とはどのような言葉の定義があるか歴史的、文化的、生理学的に学びます。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を身に付ける。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	様々な運動遊びを実際に身体を動かして経験し、集団の前でプレゼンテーションができる。 身体表現遊びに関する言葉の概念規定を、自分なりに説明ができる。			
授業方法	講義形式、グループワーク(GW)、DVD視聴、レポート、実技指導で様々な学習体験をする。			
授業計画	1 オリエンテーションと領域「健康」の中で幼児体育の位置づけとは何か？ 2 運動遊具を使う遊び(マット)※実技 3 幼児体育の意義と社会的背景とは何か？ 4 健康観の変遷 5 運動遊具を使う遊び(巧技台)※実技 6 体育、幼児体育の歴史的変遷 7 幼児期の身体発達と運動能力の特徴 8 体育遊びへの導入と展開(鬼遊び)※実技野外指導 9 幼児期に体力をつける、運動能力を伸ばすとは？ 10 幼児体育を年間を通して、実施していくくねらいとその意味> 11 保育現場での体育的活動の実際ー自由と設定保育ー<DVD視聴> 12 リズムダンス遊びのいろいろ 13 運動会の実際<DVD視聴> 14 健康とは何かを問い直す<DVD視聴> 15 保育における発達、発育、成長とは何かを問い直す<DVD視聴>			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献	『仲間づくりのためのゲーム遊び』メイト 菊池一英著			
成績評価の方法と基準	実技種目への貢献度(30%)グループワークへの参加度(30%)出席率(40%)			
担当教員の専門分野等	「実務経験のある教員による授業」に該当。保育所に副園長兼保育士として長年勤務。現在幼児体育講師として保育所にスーパーバイザーとして非常勤勤務。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・造形遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	高木 秀文
授業概要	自由でのびやかな想像力を身近で親しみのある素材を通して形にしていく領域「造形」を子どもと一緒に楽しみながら活動していく知識と技能を身につける。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	子どもの造形活動を深く理解して寄り添い、指導と同時に支援する行動が取れるようになる。 季節や行事に沿った造形遊びのアイデア、引き出しを増やして子どもに向けた幅広い造形活動ができるようになる。			
授業方法	幼児期の絵画表現を再現して造形活動への理解と興味を深める。 身近な素材を使った製作物を作り、成果を共有する。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業内容、教材、用具、評価の説明。児童画鑑賞とコメントの共有をします。 2 人形のキャラクターを反映させた人形を考えて作ります。 3 2回目で製作した人形を共有し、人形を組み合わせたストーリー展開を考えます。 4 清涼飲料などの紙パックを加工してあそびに使うおもちゃを作ります。 5 幼児期の特徴的な多視点表現の類例を観察、製作して理解を深めます。 6 乳幼児向けの遊具を紙皿や紙粘土を使って製作します。 7 メッセージを送る相手と飛び出しの工夫を考えてカードを製作します。 8 6回目の製作の仕上げと作例の共有をします。 9 複数の動物の顔の特徴を活かして描き分けをします。 10 落ち葉、枯れ枝、木の実など自然物の形を活かした装飾を考えます。 11 ペットボトル、空き箱を用いた楽器あそびが出来るおもちゃを考えます。 12 ビー玉を使ったまゆ玉が転がる盤面を考えます。 13 スポンジではんこ押し連続模様を作ります。 14 既成の物語のその後の展開や別の進行を考えます。 15 ペットボトルの中に入れる材料が流動的に動く工夫を考えます。 			
必須テキスト	特になし			
参考文献	授業内で適宜紹介します。			
成績評価の方法と基準	製作課題への積極的な取り組み(30%)+特定課題(事前告知)の仕上がり(20%)+見直しテスト課題(50%)=合計(100%) 意欲的な取り組みを評価します。			
担当教員の専門分野等	絵画(日本画)制作。文化財修復技師。幼稚園の課外造形授業、美術研究所の児童画教室の勤務歴あり。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・造形遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	目黒 祥元
授業概要	1年で学んだことを基礎にし、時に、幼児造形の枠にとらわれない画材や技法も取り入れて造形表現の実習を行う。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	基礎的なモダンテクニックに、自分なりの創意工夫を加味しながら、主体的に取り組めるようになる。			
授業方法	対面、オンラインともに、造形課題の実習をします。課題作品は提出。 *状況により授業内容の変更があります。			
授業計画	1 ガイダンス 2 モダンテクニックからの発展 3 モダンテクニックからの発展 4 モダンテクニックからの発展 5 紙粘土工作① 6 紙粘土工作② 7 モダンテクニックからの発展 8 モダンテクニックからの発展 壁面装飾 9 イメージでお絵かき 10 カップ人形貼り絵から紙版画 11 岩絵の具で指絵と線画 12 貼り絵から紙版画① 壁面装飾 13 貼り絵から紙版画② 壁面装飾 14 胡粉でお絵かき① 共同制作 15 胡粉でお絵かき② 共同制作			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献	特に指定なし			
成績評価の方法と基準	試験は実施しない。出欠と作品の提出が50パーセント、授業や課題制作への取り組みが50パーセントの総合評価。			
担当教員の専門分野等	美術家。本校では、資格試験の実技指導にあたる。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育内容の理解と方法・言葉遊びⅡ	選択必修 1単位 講義	講 師	奥谷 敏彦、本多 ちかこ、 吉田 昌子
授業概要	[奥谷]様々なアプローチによって言葉遊びに関する感覚を磨き、保育に役立つ教材を製作する。 [本多]紙芝居の特性を知り、演じ方と制作を学ぶ。 [吉田]保育現場の絵本に対するさまざまな価値観に触れながら絵本に対する考え方を広げていく。絵本制作を楽しむ。			
授業目標	1. 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 2. 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。			
到達目標	[奥谷]1. 言葉遊びを楽しむためのユーモアやセンスを理解できる。 2. 言葉遊びを使ったパズルや迷路など、教材を製作することができる。 [吉田]1. 保育現場における絵本の役割について自分の考えを持ち、説明することができる。 2. 保育場面を想定しながら絵本作りを楽しむことができる。			
授業方法	[奥谷]いろいろな言葉遊びに触れ、自ら楽しむことを出発点にして、子供たちと一緒に遊べる作品を実作します。 [吉田]パワーポイント等を用いた講義と、絵本制作。 ※授業計画の順番はクラスにより異なります。 別紙オムニバス科目授業日程をご確認ください。			
授業計画	1 [奥谷]1 はじめに～アクロスティブ自己紹介～いろいろな言葉遊びを概観し、アクロスティブで自己紹介文を制作します。 2 [奥谷]2 しりとりめいろ・・・しりとりで進む迷路を制作します。 3 [奥谷]3 スケルトン・・・子供にもわかりやすいクロスワードパズルの簡易版、スケルトンを制作します。 4 [奥谷]4 なぞなぞ/ことばあそびの詩・・・自作のなぞなぞを制作します。また、ことばあそびの詩を紹介します。 5 [奥谷]5 なぞなぞ/ことばあそびの詩・・・自作のなぞなぞを制作します。また、ことばあそびの詩を紹介します。 6 [本多]1 さまざまな紙芝居を観る 7 [本多]2 紙芝居の歴史と特性 8 [本多]3 舞台を使って演じる 9 [本多]4 紙芝居の制作 10 [本多]5 手づくり紙芝居の発表 11 [吉田昌子]1 保育現場での絵本(講義) 絵本制作 12 [吉田昌子]2 保育現場での絵本(講義) 絵本制作 13 [吉田昌子]3 保育現場での絵本(講義) 絵本制作 14 [吉田昌子]4 絵本制作 15 [吉田昌子]5 絵本制作まとめ 小レポート			
必須テキスト	特に指定なし			
参考文献				
成績評価の方法と基準	受講態度、出席状況、提出物による総合評価			
担当教員の専門分野等	奥谷:イラストレーター、パズル作家 本多:紙芝居の創作と実演 吉田:「実務経験のある教員による授業」保育園勤務経験。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育実習Ⅱ	選択必修 2単位 外部実習	講 師	実習指導授業担当
授業概要	保育所において、90時間以上の実習を行い、現場職員の指導を受ける。			
授業目標	1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることで、保育の理解を深める。 3. 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。 4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。			
到達目標	保育所の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理について、実践的に理解し、説明できる。 保育のPDCAサイクルを経験し、保育全般に対する理解を深め、自己の課題を明確化できる。			
授業方法				
授業計画	1 ①子ども及び保育者の関わりに対する視点を明確に持ち、考察する。 ②教科学習、保育実習Ⅰの経験に基づき、保育、子育て支援について理解を深める。 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	実習態度・対象者の理解・職員としての資質の観点に基づく、現場職員及び実習指導授業担当者教員による総合評価			
担当教員の専門分野等				

2022年度 講義要綱

科 目	保育実習Ⅲ	選択必修 2単位 外部実習	講 師	実習指導授業担当
授業概要	各現場の指導プログラム、計画に従う			
授業目標	1. 既習の教科や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解する。 2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。 3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する			
到達目標	1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能、利用者ニーズと支援の実際を理解する 2. 個人の支援計画を理解し、多様な専門職との協働、業務内容、職業倫理を理解する 3. 現場における学びを記録、考察し、自己課題を明確化できる			
授業方法	各施設職員の指導の下、現場で実務経験をする			
授業計画	1 ①現場職員による支援実践を観察し、活動に参加することを通して、支援全般について知る ②子ども・利用者の観察、関わりを通して、対象者への理解を深める 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15			
必須テキスト				
参考文献				
成績評価の方法と基準	「実習態度」「対象者の理解」「職員としての資質」の観点に基づく、現場職員及び実習指導担当教員による総合評価			
担当教員の専門分野等				

2022年度 講義要綱

科 目	保育実習指導Ⅱ	選択必修 1単位 講義	講 師	佐藤 めぐみ、佐藤 博美、 中西 和子
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰについて、グループディスカッション・個人面談・実習体験発表を通じて振り返り、評価・反省に基づいて自己課題を理解し必要な学習に取り組む ・保育実習Ⅱで臨む部分実習、責任実習のための準備を行う ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本への理解を深める。(該当科目1コマ) 			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 責任実習、部分実習のために保育教材の製作および指導案の立案が出来る。 2. 模擬保育の実践発表を行うことが出来る。 <ul style="list-style-type: none"> ・認定絵本士養成講座科目を学び、絵本に関する総合的なプロデュース力を身につけることができる。 			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習(グループワーク)および実技・発表 ・保育実習Ⅰの振り返りとともに模擬保育の実践、責任実習指導案を完成させるための自己学習 			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業オリエンテーション(授業概要・目標・評価方法・持ち物等の説明) 2 保育実習Ⅰの振り返り 3 「主活動の指導計画」立案練習 4 「1日の指導計画」立案練習 5 保育実習Ⅱに向けて 健康管理・個人票・実習課題 6 模擬保育に向けて①(作って遊ぶ活動の選択/ねらい) 7 模擬保育に向けて②(教材準備) 8 【認定絵本士養成講座科目】「おはなし会の手法①」担当:近藤千春 9 模擬保育に向けて③(導入の意味)模擬保育に向けて④(材料の配布・説明・遊びの展開) 10 模擬保育に向けて④(材料の配布・説明・遊びの展開) 11 模擬保育実践1 / オリエンテーションについて 12 模擬保育実践2 / 保育現場職員とのワークショップ 13 模擬保育実践3 14 試験「責任実習指導計画」 15 保育実習Ⅱに向けての心構え 			
必須テキスト	保育実習指導1aで使用した「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 【認定絵本士科目】認定絵本士養成講座テキスト			
参考文献	授業中に適宜紹介			
成績評価の方法と基準	授業への取り組み(25%)+発表・模擬保育(40%)+テスト(15%)+提出物(20%)=合計(100%)			
担当教員の専門分野等	幼稚園教諭または保育士としての実務経験があり、幼稚園教諭免許状及び保育士資格をもつ教員が、その経験に基づいた指導を行う 【認定絵本士養成講座担当講師】 ○近藤千春:絵本に関する「おはなし会」の実践経験を10年以上もつ者。			

2022年度 講義要綱

科 目	保育実習指導Ⅲ	選択必修 1単位 講義	講 師	東郷 結香
授業概要	1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にして準備を整える。			
授業目標	1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。			
到達目標	①施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について理解する ②対象の状態を適切に理解し、対応、関わり、支援計画の立案ができるよう学ぶ ③自らの課題を明確にする			
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・個々人の実習報告をもとにディスカッション、指導を行う ・各施設の現場の先生をお招きした講義や、現場見学等、体験的に学ぶ 			
授業計画	1 オリエンテーション、授業の進め方 2 保育所実習・施設実習の振り返り① 3 保育所実習・施設実習の振り返り② 4 保育所実習・施設実習の振り返り③ 5 現場連携① 6 現場連携② 7 現場連携③ 8 現場連携④ 9 現場連携⑤ 10 支援計画、指導計画の立案① 11 支援計画、指導計画の立案② 12 実習目標指導① 13 実習目標指導② 14 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 15 まとめ			
必須テキスト				
参考文献	授業内で適宜示す			
成績評価の方法と基準	出席点(30%) + 平常点(30%) + 発表等(40%) = 合計(100%)			
担当教員の専門分野等	専門は心理学です。各現場の人々や、そこで生じる事象について『解釈する』、フィールドワークが主な専門。児童養護施設や、障害児療育、心理臨床の場など様々な現場に入ってきました。			